令和元年度【紫波町商工会】経営発達支援事業　評価

≪評価基準≫ A:目標を達成することができた(100%以上)
B:目標を概ね達成することができた(80～99%)
C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30～79%)
D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
E:未実施(0%)

Ⅰ.経営発達支援事業の内容

事業	項目	元年度	実績	元年度評価		29年度		30年度		元年度	2年度	3年度
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	目標	目標
1. 地域の経済動向調査 【指針③】 (担当:目黒)	(1)関係機関・専門家等を活用した調査及び分析	6回	記帳指導協議会、紫波町産業ネットワーク協議会、税理士との協議会に参加し、情報共有を図った。	9回	A	5回	B	8回	A	6回	6回	6回
	(2)刊行物等による調査及び分析	12回	職員間で刊行物等を回覧し、事業計画の策定に必要な資料等を調査・分析を行っている。	12回	A	9回	C	11回	A	12回	12回	12回
	(3)小規模企業景気動向調査の活用	4回 30事業所	7月に復興庁によるアンケート調査を実施。12月には中小企業白書・小規模企業白書作成に向けたアンケートを実施。1月には事業承継に関する調査と消費増税・軽減税率に関する調査を行った。	4回 58事業所	A	3回 30事業所	C	3回 15事業所	C	4回 30事業所	4回 30事業所	4回 30事業所
	(4)小規模事業者への情報提供と活用	4回	商工会報による情報提供を行っている。5回発行し、HPにも掲載した。	5回	A	0回	E	3回	C	4回	4回	4回
2. 経営状況の分析 【指針①】 (担当:目黒)	(1)巡回指導等による経営状況の分析	40件	巡回指導等において、各種助成金等の周知を行い、事業計画策定につなげている。ものづくり補助金2件、持続化補助金19件、先端設備等導入計画2件、経営革新3件を支援。また、経営状況を分析し、マル経融資の斡旋や創業資金のための計画策定支援なども行った。	47件	A	38件	B	34件	B	40件	40件	40件
	(2)ネットde記帳を活用した経営状況の分析	20件	ネットde記帳を活用し、いつでも経営状況の分析ができるように処理を行っている。	20件	A	20件	A	20件	A	20件	20件	20件
	(3)小規模事業者経営改善資金等を活用した経営状況の分析	20件	金融相談において、売上・原価率・自己資本比率・返済力について、資料の作成を行っている。	20件	A	20件	A	18件	B	20件	20件	20件
	(4)専門家を活用した経営状況の分析	12回	専門家による個別相談の開催を行い、個社の事業計画策定に向けた支援に活用している。	13回	A	6回	C	7回	C	12回	12回	12回
3. 事業計画策定支援 【指針②】 (担当:目黒)	(1)専門家等を活用した事業計画策定説明会の開催	12回 36人	専門家等を活用した事業計画策定説明会等の開催や個別指導会を行い、事業計画策定の必要性等について説明や策定の指導を行った。	16回 45人	A	8回 32人	C	9回 29人	C	12回 36人	12回 36人	12回 36人
	(2)事業計画策定までのアプローチ	30件	窓口指導や巡回指導時に、自社の事業概要や強みや弱み、市場や個社に対するニーズなど内部環境・外部環境について説明を行い、個社の持続的発展のための事業計画策定につなげている。	37件	A	30件	A	34件	A	30件	30件	30件
	(3)事業承継・創業希望者に向けた事業計画策定支援	2件	いわて起業家育成資金を活用した創業支援や事業承継に向けた事業計画策定支援として、青年部員を対象に事業計画(事業承継)策定説明会の開催や創業希望者への支援等を行った。また、県連事業承継支援推進計画において事業承継計画策定支援を行った。	17件	A	1件	C	1件	C	2件	2件	2件
	(4)小規模事業者経営発達支援資金等の活用	15件	マル経融資を活用して事業計画推進の支援を行った。	19件	A	6件	C	5件	C	15件	15件	15件
4. 事業計画策定後の実施支援 【指針②】 (担当:目黒)	(1)事業計画策定後の進捗管理	120回 23回	事業計画策定後の巡回訪問実績　巡回件数300件以上、事業計画策定26件のフォローを行った。	120回以上 26回	A	120以上 23以上	A	120以上 23以上	A	120回 23回	140回 29回	140回 29回
	(2)金融・創業支援後のフォローアップ	10件 2回20人	資金計画のフォローとしてマル経融資の斡旋を19件と創業後のフォローアップ融資1件を行った。また、事業承継セミナーに7人が参加した。	20件 1回7人	B	7件 0回0人	C	4件 0回0人	D	10件 2回20人	10件 2回20人	10件 3回20人
5. 需要動向調査 【指針③】 (担当:田中)	(1)バイヤー(専門店・百貨店)からの需要動向調査	30件 2回	仙台市で行われたビジネスマッチ東北にてバイヤー等から聞き取り調査を行った。	62件 1回	B	0件 1回	D	6件 0回	D	30件 2回	30件 2回	30件 2回
	(2)物産展等でのアンケート調査による需要動向調査	1,000人 /2回	毎年行っても効果が薄いと感じたため、今年度は紫波町グルメマップによる消費者動向調査を行い、122人からアンケートを得た。調査結果はマップ掲載店舗に通知し、フィードバックすることで今後の経営に役立てていただく。	122人 /1回	C	678人 /2	C	586人 /2	C	1,000人 /2	1,000人 /2	1,000人 /2
	(3)関係機関と連携した需要動向調査	2回	ビジネスマッチ東北でのバイヤーからの聞き取り調査において、盛岡信用金庫と(同)地域計画と連携し調査を行った。グルメマップによる消費者動向調査も(同)地域計画と連携し行った。	2回	A	1回	C	1回	C	2回	2回	2回
	(4)関係機関が発行する機関誌における需要動向調査	4回	関係機関が発行する機関誌等を職員間で回覧し、販路拡大や事業計画の策定に必要な資料等を調査・分析を行い、個社支援の際に提供している。	4回	A	0回	E	3回	C	4回	4回	4回
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】 (担当:田中)	(1)展示会・商談会への事前研修等による支援	2回 1件	9月に物産展の事前打合せを行った。10月にはビジネスマッチ東北の事前打合せを行い、専門家・金融機関からアドバイスを受け、商談会に臨むにあたっての留意点を学んだ。出展後に2件の成約が決まり、成果を上げることができた。	2回 2件	A	1回 1回	C	1回 0回	D	2回 1回	2回 1回	2回 1回
	(2)地域特産品を活用した個社の活動支援事業	2回	日野市産業まつりでは特産品パンフレットを活用しPRを行い、地域内の小規模事業者の売上向上を図った。また、ビジネスマッチ東北では3社が出展し、それぞれの商品をPRした。	2回	A	2回	A	2回	A	2回	2回	2回
	(3)関係機関との連携による個社の活動支援事業	2回	首都圏のイベントに参加し、経費的な面から人員的な面まで販路開拓に寄与する支援を行っている。また、ビジネスマッチ東北でも経費負担や人員による支援等の出展支援を行った。	2回	A	2回	A	2回	A	2回	2回	2回
	(4)展示会・商談会等の参加者へのITを活用した販路開拓	1回 (10件)	ITを活用した販路開拓支援として、全国商工会連合会が運営するECサイト「ニッポンセレクト. Com」への出品勧奨を巡回指導時に行っているものの企業登録や商品登録までにはいたっていない。	1回 (0件)	C	0回 (0件)	E	1回 (0件)	C	2回 (20件)	2回 (20件)	2回 (20件)

令和元年度【紫波町商工会】経営発達支援事業　評価

≪評価基準≫ A：目標を達成することができた（100%以上）
B：目標を概ね達成することができた（80～99%）
C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）
D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
E：未実施（0%）

Ⅱ．地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	1年度	実績	元年度評価		29年度		30年度		31年度	32年度	33年度
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	目標	目標
1．地域経済活性化事業 （担当：田中）	（1）紫波町ブランドの確立と商品開発	1回	持続化補助金や経営革新、専門家派遣等を活用し各社の特産品開発を支援した。	4回	A	0回	E	0回	C	1回	1回	1回
	（2）中心市街地活性化事業を中心とする地域活性化対策	6回	中心市街地活性化検討委員会を開催し、紫波町の活性化を図るために新たな「グルメマップ」を作成した。前回よりアンケート付きスタンプラリー企画を充実させ、122通の応募があった。部数も昨年度より2,000部多い6,000部発行した。	4回	B	3回	C	4回	B	6回	6回	6回
	（3）活性化イベントの見直しと充実	9回	「南部酒屋唄全国大会（4月）」、「びっくり市夏の陣（7月）」、「夏まつり」（8月）」、「産業まつり」（10月）、「元祖びっくり市（2月）」、「新酒まつり（2月）」「さんさん朝市（年4回）」を主催・共催で実施している。	11回	A	7回	C	6回	C	9回	9回	9回

Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	1年度	実績	元年度評価		29年度		30年度		31年度	32年度	33年度
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	目標	目標
1．他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換 （担当：高橋）	（1）支援機関・金融機関との連携及び情報の交換	10人 4回	研修会や懇談会に積極的に参加し、得られた情報については、職員間で共有し、小規模事業者の個別指導の際に活用している。また、地元金融機関との懇談会の開催や、利子補給会議へ参加した。	25人 2回	B	17人 4回	A	22人 2回	C	10人 4回	10人 4回	10人 4回
	（2）専門家等との連携及び情報の交換	2回	東北ビジネスマッチにおいて事前打合せ会、当日の商談会と専門家と連携し情報交換を図りながら実施した。	2回	A	2回	A	4回	A	2回	2回	2回
	（3）『紫波町経営力向上会議』の設置	2回	『経営発達支援計画事業評価委員会』において、専門家、金融機関の支援ノウハウ、支援の現状等について情報交換を行った。	2回	A	2回	A	2回	A	2回	2回	2回
2．経営指導員等の資質向上等 （担当：高橋）	（1）職種別の資質向上	－	職員を対象に、岩手県商工会連合会の職員向け研修会、中小企業基盤整備機構の研修等への参加し、資質向上に取組んでいる。	－	A	－	A	－	A	－	－	－
	（2）職員間での情報・知識の共有と蓄積	随時	毎朝職員間でミーティングを行い、本日の業務等を話合い、お互いの指導・助言内容、情報などを共有し、会員支援に役立てている。	随時	A	随時	C	随時	随時	随時	随時	随時
3．事業の評価及び見直しをするための仕組み （担当：高橋）	（1）事務局での進捗状況の確認及び事業内容の検証	4回	経営発達支援計画の内容について、各担当者により、現在の進捗状況の確認及び事業内容の検証を行った。	4回	A	4回	A	1回	D	4回	4回	4回
	（2）三役会での進捗状況の確認及び事業内容の検証	12回		12回	A	9回	C	3回	D	12回	12回	12回
	（3）理事会での評価・見直し方針の決定	4回		4回	A	3回	C	1回	D	4回	4回	4回
	（4）『紫波町商工会事業評価委員会』での評価及び検証	1回		1回	A	2回	A	3回	A	1回	1回	1回
	（5）会員・町への報告	1回	次年度の総会での報告、ホームページでの公表を行う予定である。	－	－	－	－	－	－	1回	1回	1回
	（6）事業結果の公表	7回		－	－	－	－	－	－	7回	7回	7回

令和元年度総合評価	29年度総合評価	30年度総合評価
B	C	C